

せんだいメディアテーク年報 (2013年度)

はじめに

2013年度は、哲学者の鷲田清一が館長に就任し、「フォロワーシップの時代」と題したトークイベントを皮切りに、「考えるテーブル」や「シネバトル」への参加など、市民のみならずとの語り合いを重ねるなかで、人々の出会いと活動の場としての当館の新たな一面を拓く年となりました。また、2011年1月に迎えた開館10周年、そして、同年3月11日の東日本大震災から3年目という、ふたつの節目からの取り組みが定着へと向かう年であったと言えるでしょう。

施設運営全般を振り返れば、来館者数、施設利用実績ともに震災前とほぼ同様の水準に復調しました。

企画事業では、一昨年度から継続してきた「考えるテーブル」や、市民グループ等との協働によるプロジェクトなど、さまざまな分野と方法による事業を「対話の可能性」というテーマによって束ね、年間を通じて展開しました。その中心となった作品「LOVERS 永遠の恋人たち」（古橋悌二／1994年）は、当館に寄託され各国での展覧会に供してきた作品で、仙台では2001年の開館記念事業以来の公開となり、多くの方々にお越しいただきました。

さらに、情報サービス事業も新たな段階へと歩みを進めました。「震災の記録・市民協働アーカイブ」として3年目を迎えた「3がつ11にちをわすれないためにセンター」の活動成果を活用すべく学校教材の研究に取り組み始めたほか、15タイトルの映像をDVD化し、映像音響ライブラリー等で閲覧・貸出できるようにしました。また、これまで個人・団体との協働で進めてきた事業から生まれた映像、過去の主催事業記録等のDVDがライブラリーに配架されています。これは当館を拠点としたさまざまな地域文化活動のアーカイブとその活用を目指す取り組み「smtコレクション」の一環であり、今後も継続的に資料を増やしていく予定です。

社会のさまざまな場面で「震災から3年目」が意識された今年度。メディアテークの1年を振り返りながら、いま、そして、これからの地域社会に必要とされる芸術文化・生涯学習拠点がどうあるべきか、私どもとともに考えていただければと存じます。

目次

1. 施設の概要
 - 1-1. 施設
 - 1-2. 沿革
 - 1-3. 組織
 - 1-4. 経費
 - 1-5. 施設使用実績（貸出、受入など）
2. 企画事業
 - 2-1. 対話の可能性
 - 2-2. 地域メディア文化活性
 - 2-3. 新館長主宰事業
 - 2-4. 活用推進事業
 - 2-5. その他事業
3. 受託事業
4. 情報サービス事業
 - 4-1. 映像音響ライブラリー
 - 4-2. 教材ライブラリー
 - 4-3. 視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー）
 - 4-4. 地域映像ライブラリー
 - 4-5. デジタルアーカイブ事業
 - 4-6. メディア活用推進事業（活動支援事業）
5. 広報物
 - 5-1. 配布・配信
 - 5-2. 常備配布

1. 施設の概要

1-1. 施設

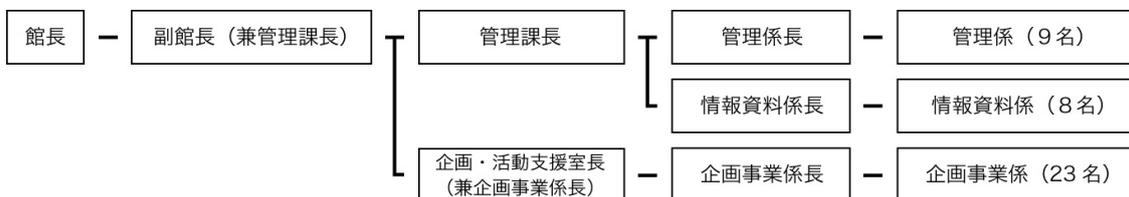
所在地	仙台市青葉区春日町2番1号
開館時間	9:00-22:00（階により異なる）
敷地面積	3,949 m ²
構造	鉄筋造一部鉄筋コンクリート造地下2階地上7階建
延床面積	21,682 m ²
主な施設内容	
地下2階	書庫、収蔵庫、機械室
地下1階	駐車場、書庫
1階プラザ	定禅寺通に開かれた屋内型公開空地、オープンスクエア、カフェ、ショップ
2階ライブラリー	映像音響資料、児童書、新着新聞雑誌等の閲覧
3・4階ライブラリー	仙台市民図書館
5階ギャラリー3300	固定壁面を中心とする天井高3,300cmの展示空間
6階ギャラリー4200	可動壁面で自由に構成できる天井高4,200cmの展示空間
7階スタジオ	施設貸出・相談窓口、スタジオシアター、各種スタジオ

1-2. 沿革

平成元年（1989年）	宮城県芸術協会が大型ギャラリーを中心とした美術館建設の要望書提出。
平成4年（1992年）	定禅寺通に図書館を併設した市民ギャラリーを建設する方針が定まる。
平成6年（1994年）	市民ギャラリー、図書館、映像メディアセンター、視聴覚障害者のための情報提供施設の機能を併せ持つ芸術文化施設とすることが決まる。
平成7年（1995年）	設計競技により、伊東豊雄建築設計事務所が選ばれる。
平成9年（1997年）	12月着工。平成12年（2000年）8月竣工。
平成13年（2001年）	1月26日開館。仙台ひと・まち交流財団が管理（図書館は仙台市直営）。グッドデザイン大賞受賞。
平成16年（2004年）	仙台ひと・まち交流財団を指定管理者として指定。
平成19年（2007年）	業務移管により、仙台市市民文化事業団を指定管理者に指定。
平成20年（2008年）	館内フロアレイアウトを一部変更。
平成23年（2011年）	地域創造大賞受賞。東日本大震災により休館。5月3日から一部再開し、翌年1月27日に全館再開。

1-3. 組織

所管 仙台市教育委員会生涯学習部生涯学習課
 指定管理者 公益財団法人仙台市市民文化事業団 *図書館は仙台市直営



※平成 26 年 3 月時点。総職員数 45 名。() 内の数字は臨時職員等をふくむ。

1-4. 経費

歳入 計 111,277 千円
 施設使用料等 86,005 千円
 事業収入 25,272 千円

*事業収入のうち、助成金収入は 9,968 千円。

(助成元)

一般財団法人地域創造

公益財団法人花王芸術・科学財団

独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」

歳出 計 560,024 千円
 施設運営費 534,752 千円
 事業費 25,272 千円

1-5. 施設使用実績（貸出、受入など）

(1) 施設使用状況（貸館施設）

施設	貸出単位	利用件数	日数ベース利用率	利用者数
5階ギャラリー	週	94	100	162,538
6階ギャラリー	週	60	89.6	163,060
オープンスクエア	日	272	79.5	95,759
スタジオシアター	1日3区分	236	61.7	21,143
2階会議室	1日3区分	596	92.2	5,875
7階会議室	1日3区分	1,021	98.3	12,020
プラザ控室（附帯施設）	1日3区分	419	60.2	3,710
託児室（附帯施設）	1日3区分	15	4.3	57

(2) 視察・取材の対応 144件

(3) 学芸員実習の受入 2名（武蔵野美術大学より）

2. 企画事業

メディアを活用した生涯学習活動および文化活動にかかる、展示・上映・ワークショップ等。

2-1. 対話の可能性(展覧会等総合事業)

「考えるテーブル」と名付けた場でさまざまな対話を醸成しながら、アレゴリー（寓意）として多様な表現を投げかけ（コール事業）、参加者がそれに対するリアクションを表現（レスポンス事業）、新たな参加にむけた問いの連鎖を生むための事業を実施しました。

【対話の場づくり（考えるテーブル）】

(1) てつがくカフェ



会期

2013 年

5月6日 6月9日 7月14日
8月4日 10月27日 11月10日
12月15日 12月22日

2014 年

1月19日 2月16日 3月2日
(全10回)

会場 スタジオ a ギャラリー4200
 オープンスクエア

入場・参加者数
 のべ602名

入場料等 無料

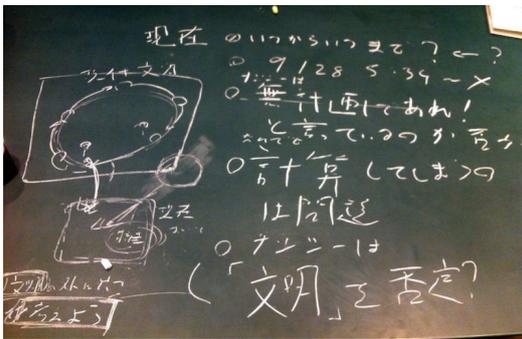
共催等 共催：てつがくカフェ@せんだい

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=4097>

2011年度から続くシリーズ。私たちがふだんあたりまえだと思っていることからいったん身を引き離し、問いを投げかけ、参加者同士で震災にまつわるテーマの対話を続けました。

(2) てつがくカフェ<3.11 以降>読書会
「震災を読み解くために」



会期

2013年
5月12日 6月22日 7月27日
8月24日 9月28日 10月26日
11月23日
2014年
1月25日 2月22日 3月22日
(全11回)

会場 スタジオ a ギャラリー4200
オープンスクエア

入場・参加者数

のべ121名

入場料等 無料

共催等 共催：てつがくカフェ@せんだい

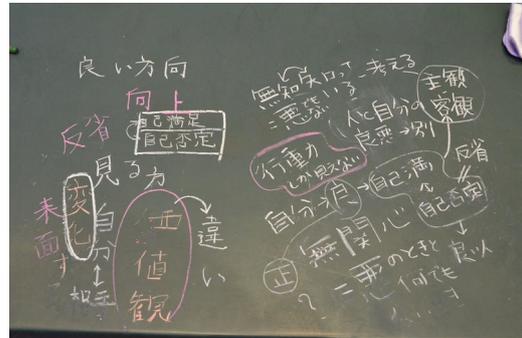
ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=4097>

参加者とともにジャン=リュック・ナンシー
著『フクシマの後で 破局・技術・民主主

義』（渡名喜庸哲訳／以文社）を音読と対話を繰り返しながら読みました。

(3) U-18 てつがくカフェ



会期

2013年
9月1日 12月8日
(全2回)

会場 スタジオ a ギャラリー4200

入場・参加者数

のべ24名

入場料等 無料

共催等 共催：てつがくカフェ@せんだい

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=4097>

「あなたは良い人？ 悪い人？」「愛について」をテーマに中高生の参加者同士で対話しました。

(4) 3.11 定点観測写真アーカイブ・プロジェクト 公開サロン「みっづける、あの日からの風景」



会期

2013年
 4月30日 5月1日 6月1日
 8月3日 10月5日 12月23日
 (全6回)

会場 スタジオ a ギャラリー4200
 オープンスクエア

入場・参加者数

のべ212名

入場料等 無料

共催等 共催：NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=4116>

NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台と当館が協働して、東日本大震災後の各地の定点観測をおこなうプロジェクト。その一環として、画像を提供いただいた方々を招き、自

分の撮った写真をもとに解説するとともに、3月11日を撮り続ける定点観測のありかたについて考えました。

(5) どこコレ? —おしえてください昭和のセンダイー



会期

2013年
 8月17日

会場 スタジオ a

入場・参加者数
 40名

入場料等 無料

共催等 共催：NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=5404>

NPO 法人 20 世紀アーカイブと当館が協働して、仙台のどこかではあるけれども詳細がわからない古い写真や映像を展示し、来場者とともに明らかにしていくプロジェクト。同名でのラウンジ展示期間中に集まった情報をもとに話し合いました。

(6) いま、貞山運河を考える「を考える」



会期

2013年
9月28日

会場 スタジオ a

入場・参加者数
14名

入場料等 無料

共催等 共催：いま、貞山運河を考える会

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=4105>

いま、貞山運河を考える会と当館が協働して、2011年度から取り組んだ「いま、貞山運河を考える」。2年間にわたる取り組みのレポートをもとに、さまざまな視点から貞山運河の利活用について話し合いました。

(7) 支援のかたち「被災地でのパートナーシップ」



会期

2013年
12月11日

会場 ギャラリー4200

入場・参加者数
42名

入場料等 無料

共催等 共催：仙台市市民活動サポートセンター / 協力：協働の強化書 2013 プロジェクト 東北大学大学院 経済学研究科非営利組織論ゼミナール（西出ゼミ）NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=4110>

調査報告と事例発表を題材に、参加者とこれからの復興とまちづくりを進めていく上で欠かせないパートナーシップについて考えました。

(8) 四ッ谷四方山考現学



会期

2013年

11月20日 12月6日

2014年

1月18日

(全3回)

会場 スタジオ a ギャラリー4200

入場・参加者数

のべ102名

入場料等 無料

共催等 共催：NPO 法人 水・環境ネット
東北

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=4121>

「仙台・隠された水の道 —広瀬川に生かされた街—」「仙台・甦る水の道 —私たちにできること—」「仙台・杜の都と水の道 —潤いのあるまちづくり—」をテーマに話し合いました。

(9) こけし、かだる？



会期

2013年

7月13日 12月15日

(全2回)

会場 スタジオ a ギャラリー4200

入場・参加者数

のべ100名

入場料等 無料

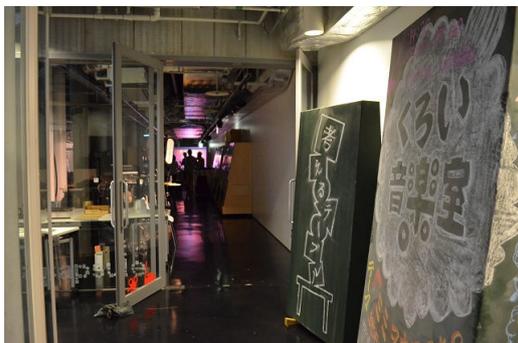
共催等 共催：こけしぼっこ

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=4646>

「弥治郎編」では弥治郎系工人・新山吉紀を、「遠刈田編」では遠刈田系工人・佐藤康広を囲みながら、こけしについて語り合いました。

(10) くりい音楽室「赤べこレコーズのしらべークラブ歌謡曲」



会期

2014年
1月13日

会場 スタジオ a

入場・参加者数
42名

入場料等 無料

共催等 宮城アナログ文化協会 / 協力：東北大学学友会オーディオ研究部 東北学院大学ブラックカルチャー研究会 SOUL ON TOP 赤べこレコーズ

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=5092>

日本で製作された、思わず首を振ってしまうような音楽の情報発信を続けている「赤べこレコーズ」をゲストに招き、紹介された曲や音楽などについて対話しました。

(11) 民話ゆうわ座 一話に遊び 輪を結び座に集うー



会期

2013年
6月22日

会場 スタジオ a

入場・参加者数
77名

入場料等 無料

共催等 共催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/minwa/>

みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトと当館が協働して、宮城県の民話の映像・音声資料や採訪活動の記録をまとめるプロジェクト。その一環として、絵本に書かれた「かちかちやま」、宮城・山形の伝承の語り手による「かちかちやま」を通して語り合いました。

(12) ヤングファーマー農宴



会期

2013年
11月16日

2014年
1月26日 2月15日

(全3回)

会場 スタジオ a ギャラリー4200

入場・参加者数
のべ139名

入場料等 無料

共催等 共催：宮城県4Hクラブ

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=5090>

「有機栽培と慣行栽培」「災害と農業」「TPPと農業」をテーマに話し合いました。

(13) 障がい者グラフィティ



会期

2013年
4月16日 5月22日

(全2回)

会場 スタジオ a

入場・参加者数
のべ50名

入場料等 無料

共催等 NPO 法人ゆにふりみやぎ CIL
たすけっと / 協力：被災地
障がい者センターみやぎ

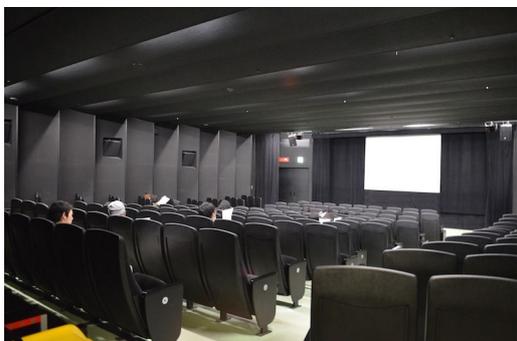
ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=4112>

「『あたりまえ』を諦めない」「避難先名古屋での出会いと、仙台での新しい生活」をテーマに話し合いました。また、6月からは3がつ11にちをわすれないためにセンターの「わすれんTV311」に移り、7階プロジェクトルームからインターネット配信を毎月おこないました。

[対話のための発信 (コール)]

(1) 世界夢／霧 (せかいむ)



会期

2013年8月9日 - 8月11日

会場

スタジオシアター

入場・参加者数

195名

入場料等

一般500円 高校生300円 中学生以下無料

共催等

共催：レインボーアーカイブ東北

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/dialogues/>

戦後から現在までの世界を鋭い目でとらえた5作品を上映しました。

(上映作品)

『対話の可能性』

(監督：ヤン・シュヴァンクマイエル)

『博士の異常な愛情』

(監督：スタンリー・キューブリック)

『フルスタリョフ、車を！』

(監督：アレクセイ・ゲルマン)

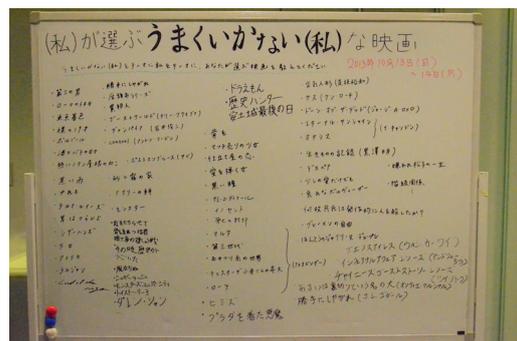
『豚と軍艦』

(監督：今村昌平)

『眠れぬ夜の仕事図鑑』

(監督：ニコラウス・ゲイハルター)

(2) うまくいかない (私)



会期

2013年10月12日 - 10月14日

会場

スタジオシアター

入場・参加者数

190名

入場料等

一般500円 高校生300円 中学生以下無料

共催等

協力：東京国立近代美術館フィルムセンター レインボーアーカイブ東北

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/dialogues/>

他者との関係のなかでつまずき、なお懸命な「私」の姿を捉えた作品を上映しました。

(上映作品)

『ラルジャン』

(監督：ロベール・ブレッソン)

『下女』

(監督：キム・ギヨン)

『階級関係-カフカ「アメリカ」より』

(監督：ジャン＝マリー・ストロープ、ダニエル・ユイレ)

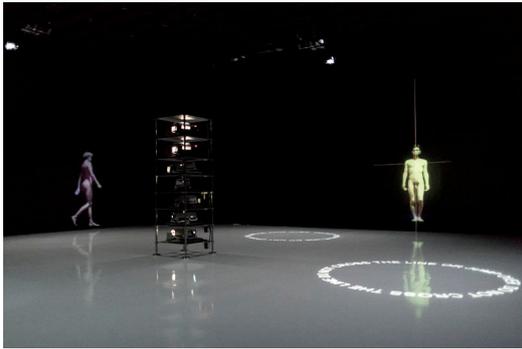
『国道20号線』

(監督：富田克也)

『わが町』

(監督：川島雄三)

(3) LOVERS 永遠の恋人たち



会期

2013年11月7日 - 2014年1月12日

会場 ギャラリー4200

入場・参加者数

13,259名

入場料等 一般・大学生・専門学校生 100円
高校生以下無料

共催等 協力：レインボーアーカイブ東北
マゼラン 火星の庭
TURNAROUND

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/dialogues/>

当館寄託作品であり、故・古橋悌二によるメディア・アート作品「LOVERS 永遠の恋人たち」を展示したほか、市内の協力団体・店舗による関連書籍の展示・販売をおこないました。

(4) 性の凜 (せいのりん)

会期

2013年11月16日 - 11月17日

会場 スタジオシアター

入場・参加者数

215名

入場料等 一般500円 高校生300円 中学生以下無料

共催等 協力：レインボーアーカイブ東北

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/dialogues/>

「性」を見つめ直すことで新たに広がる「生」の地平を描いた5作品を上映しました。

(上映作品)

『S/N』

(制作：Dumb Type)

『オデット』

(監督：ジョアン・ペドロ・ロドリゲス)

『オープニング・ナイト』

(監督：ジョン・カサヴェテス)

『にっぽん戦後史 マダムおんぼるの生活』

(監督：今村昌平)

『浮草』

(監督：小津安二郎)

(5) さるかたにあらまほし



会期

2013年12月13日 - 12月15日

会場 スタジオシアター

入場・参加者数

140名

入場料等 一般500円 高校生300円 中学生以下無料

共催等 協力：レインボーアーカイブ東北

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/dialogues/>

過去でも未来でもなく、私たちの今を希望とともに物語る作品を上映しました。

(上映作品)

『Two Years At Sea』

(監督：ベン・リヴァース)

『真昼の不思議な物体』

(監督：アピチャップン・ウィーラセタクン)

『お葬式』

(監督：伊丹十三)

『埋もれ木』

(監督：小栗康平)

(6) ポストメディア時代の映像 (考えるテーブル)



会期

2013年

8月10日 12月14日

(全2回)

会場 クレブスキュール・カフェ、ギャラリー420

入場・参加者数

のべ40名

入場料等 1,000円

共催等 協力：レインボーアーカイブ東北
マゼラン 火星の庭
TURNAROUND

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/dialogues/>

「世界夢／霧」「さるかたにあらまほし」の上映会にあわせ、今日私たちの生活世界を覆う映像をめぐって、ポストメディアという視点から考察しました。

講師：門林岳史（メディア論研究、関西大学准教授）、三浦哲哉（映画批評家、青山学院大学准教授。第2回対話編に出演）。

(7) 森永邦彦×鷺田清一 からだ×ふく×せ
くしゅありてい (考えるテーブル)



会期

2013年11月17日

会場 ギャラリー4200

入場・参加者数

77名

入場料等 無料

共催等 協力：レインボーアーカイブ東北
マゼラン 火星の庭
TURNAROUND

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/dialogues/>

「LOVERS 永遠の恋人たち」の展示にあわせ、気鋭のファッションブランドANREALAGE（アンリアレイジ）を率いる森永邦彦と、鷺田館長が、各々の活動や事例を紹介しながら、自己表現としての、または性の主張としての、あるいは社会への提起としてのファッションについて語り合いました。

(8) 機関誌『ミルフィユ 06』 (出版物)



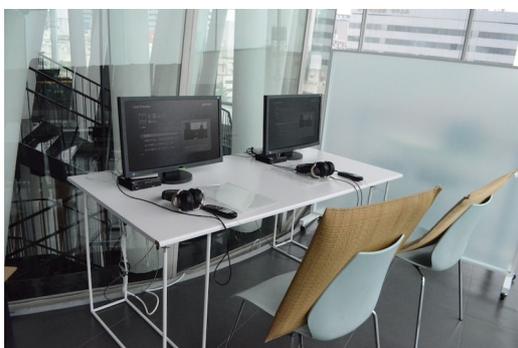
ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/mille/>

さまざまなイメージやメッセージや人々が層をなして重なり合う活動をその名前に託した機関誌。第6号は「わからないことにかかわれなくなってきた。」をテーマにさまざまな執筆陣による論考やメディアテークでの諸活動の記録をまとめました（1500部／発行：赤々舎／価格：1,300円+税）。

[対話による協働企画 (レスポンス)]

(1) 民話 声の図書室 —民話の深い森に分け入って— (ラウンジ展示)



会期

2013年5月3日 - 6月30日

会場 南ラウンジ

入場・参加者数 —

入場料等 無料

共催等 共催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクト

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/minwa/>

「民話 声の図書室」プロジェクトの一環として、宮城県の民話の音声資料や採訪活動の写真を展示しました。

(2) どこコレ? —おしえてください昭和のセンダイー (ラウンジ展示)



会期

2013年7月20日 - 8月25日

会場 南ラウンジ

入場・参加者数 —

入場料等 無料

共催等 共催：NPO 法人 20世紀アーカイブ仙台

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/doko/>

「どこコレ? —おしえてください昭和のセンダイー」の一環として、仙台のどこかではあるが詳細がわからない写真や映像を展示し、来場者からの情報を集めました。会期中の7月28日には写真と同じ場所をたずね歩く「あるくどこコレ?」も実施。

(3) いま、貞山運河を考える (ラウンジ展示)



会期

2013年9月7日 - 10月27日

会場 南ラウンジ

入場・参加者数 —

入場料等 無料

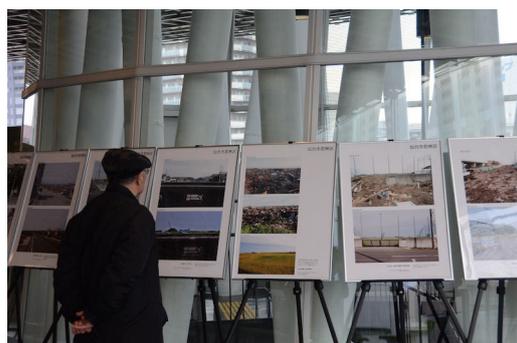
共催等 共催：いま、貞山運河を考える会

ウェブサイト

<http://smt.jp/teizan/>

「いま、貞山運河を考える」の一環として、2011年度から「考えるテーブル」で続けてきた全7回の記録と資料を展示しました。

(4) 定めた点から観て測る (ラウンジ展示)



会期

2014年2月28日 - 4月13日

会場 南ラウンジ

入場・参加者数 —

入場料等 無料

共催等 協力：NPO 法人 20世紀アーカイブ仙台 まちかど公共研究所
NPO 法人都市デザインワークス
一般社団法人 ReRoots NPO
法人創る村

ウェブサイト

<http://recorder311.smt.jp/information/34473/>

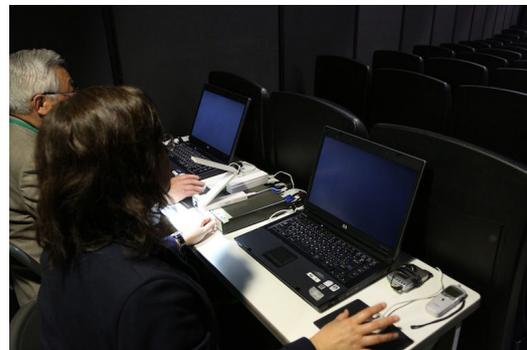
3.11 定点観測写真アーカイブ・プロジェクトの一環として、震災前と震災後の2つの視点を軸に、個人やグループで記録された写真を展示しました。

2-2. 地域メディア文化活性

活動の成果物を収集・提供・発信することに重点をおき、アーカイブの利活用機会の開発や情報発信、さらなる市民による表現活動の活性化を目指した事業をおこないました。

[バリアフリー・デザイン]

(1) 音声解説・日本語字幕・託児つき上映『次郎長三国志』



会期

2013年5月26日

会場 スタジオシアター

入場・参加者数

94名

入場料等 無料

共催等 —

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/>

目や耳が不自由な方も一緒に映画を楽しめるよう、音声解説や日本語字幕をつけた日本映画を上映しました。音声解説と日本語字幕はボランティアが制作しています。

(2) 音声解説・日本語字幕・託児つき上映
『ひかりのおと』

会期

2013年9月22日(仙台短篇映画祭 2013
のプログラムとして)

会場 スタジオシアター

入場・参加者数

40名

入場料等 (仙台短篇映画祭 2013 に準じる)

共催等 共催: 仙台短篇映画祭実行委員会

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/>

ショートピース! 仙台短篇映画祭 2013 の一環として、目や耳が不自由な方も一緒に映画を楽しめるよう、音声解説や日本語字幕をつけた日本映画を上映しました。音声解説と日本語字幕はボランティアが制作しています。

(3) 音声解説・日本語字幕・託児つき上映
『しあわせのパン』



会期

2013年12月1日

会場 スタジオシアター

入場・参加者数

126名

入場料等 500円

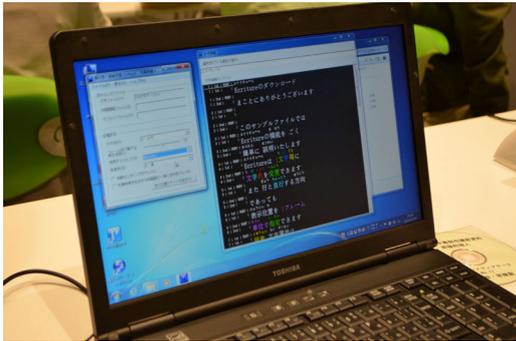
共催等 —

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/>

目や耳が不自由な方も一緒に映画を楽しめるよう、音声解説や日本語字幕をつけた日本映画を上映しました。音声解説と日本語字幕はボランティアが制作しています。

(4) 日本語字幕制作講座



会期

2013年6月11日 - 7月30日(全8回)

会場 2階会議室 スタジオ a

入場・参加者数

12名

入場料等 無料

共催等 —

ウェブサイト —

目耳の不自由な人たちのために映画の日本語字幕をつくる作業をおこなうボランティアを養成するための講座を開きました。

(5) 手話による読み聞かせボランティア養成講座



会期

2013年9月1日 - 10月27日(全5回)

会場 スタジオ b

入場・参加者数

6名

入場料等 無料

共催等 —

ウェブサイト —

手話による読み聞かせの技術を学びました。講座終了後、12月14日実施した「手ではなすおはなしの会」で、子どもたちに手話による読み聞かせをおこないました。

(6) 手ではなすおはなしの会 2013



会期

2013年12月14日

会場 2階会議室

入場・参加者数

22名

入場料等 無料

共催等 —

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/barrierfree/tedehanasu/2013/1214.html>

ろう者のボランティアグループ「まほうの手」が、耳の聞こえない子とその保護者を対象に、手話による絵本や児童書の読み聞かせをおこないました。

(7) DAISY 編集者ステップアップ講座

会期

2013年
12月19日

2014年
1月16日 3月20日

(全3回)

会場 スタジオb

入場・参加者数
のべ14名

入場料等 無料

共催等 —

ウェブサイト —

耳が不自由なかたのための図書資料(DAISY 資料)を制作するボランティアスタッフの養成講座をおこないました。

[地域文化デジタルイズ]

(1) ことり TV



協働 ことり TV 市民ディレクター（個人 27 名 団体 2 団体） 仙台 CATV

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/kotori/>

一般公募によって集まった、ことり TV 市民ディレクターのみなさんと、仙台 CATV、当館が協働して、取材や撮影、スタジオでの編集による番組「ことり TV」を制作し、年間を通じて仙台 CATV で放送しました。また、今年度はスタジオでの収録型番組「ことりの杜スタジオ in せんだい」にも取り組みました。

(2) いま、貞山運河を考える (再掲)

協働 いま、貞山運河を考える会

ウェブサイト

<http://table.smt.jp/?p=4105>

(3) どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ— (再掲)

協働 NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/doko/>

(4) 「民話 声の図書室」プロジェクト (再掲)

協働 みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクト

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/minwa/>

(5) おほはしア라운드

協働 地域探検隊-TTT-

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/ttt/>

広瀬川右岸・大橋周辺に埋もれている地域資源を発掘し、活用できるように記録する活動。今年度はその成果を「としょかん・メディアテーク フェスティバル」で発表しました。

[その他]

(1) 3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター (震災の記録・市民協働アーカイブ) (「3. 受託事業」を参照)

2-3. 新館長主宰事業

鷲田館長がコーディネーターを務める事業をおこないました。

(1) 新館長就任記念トークイベント「フォロワーシップの時代」(要約筆記つき)

会期

2013年4月29日

会場 オープンスクエア

入場・参加者数

220名

入場料等 無料

共催等 ー

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/directorstalk2013/>

鷲田館長と奥山恵美子仙台市長、10代の市民とが対話し、一人ひとりが支え合い動かしていく社会のありようや、対話と協働の可能性、震災後の若者の社会参画などについて参加者と語りました。

(2) 台所の可能性

会期

2014年3月28日(収録)

会場 スタジオ

入場・参加者数 ー

入場料等 無料

共催等 ー

ウェブサイト ー

スタジオに「昭和の台所」風セットを構え、鷲田館長と、東京芸術大学大学院教授でメディアテーク建設時のプロジェクトチームメンバーでもあった桂英史による対談を収録しました(映像パッケージとして映像音響ライブラリー等で公開予定)。

2-4. 活用推進事業

各種団体との協働や連携により、当館の活用を進める事業をおこないました。

[地域文化連携]

(1) Book!Book!Sendai 2013 ちいさな出版がっこう特別講義「小さな本のつくりかた」 / 「Diary」発行



会期

2013年6月14日

会場 スタジオb

入場・参加者数

42名

入場料等 1,000円

共催等 共催：Book!Book!Sendai /
協力：小さな街

ウェブサイト

<http://bookbooksendai.com>

仙台で本の魅力や読書の大切さについて考え伝えていく活動を営む Book!Book!Sendai による「Book!Book!Sendai 2013」の一環としてレクチャーをおこないました。木村衣有子（文筆家）、清水真介（Cyg/homesickdesign）、南陀楼綾繁（ライター／編集者）を招き、リトルブレイスやZINE、フリーペーパーなどの個人出版活動について、また、2012年度事業「ちいさな出版がっこう」で制作された作品や、そのほかの関連作品を紹介しながら、本づくりへの関わりかたとその魅力を話し合いました。また、2014年3月には、Book!Book!Sendai独自の視点で集めた仙台市内のイベント情報を紹介するフリーペーパー「Diary」第1号を発行しました（5000部）。

(2) ショートピース！仙台短篇映画祭 2013



会期

2013年9月21日 - 9月23日

会場 スタジオシアター オープンスクエア ほか仙台市内

入場・参加者数

2,206名

入場料等 一般1,000円 小学生以下800円

共催等 共催：仙台短篇映画祭実行委員会

ウェブサイト

<http://www.shortpiece.com>

2001年から続く仙台短篇映画祭との共催による映画祭。震災関連作品の上映、「新しい才能に会う」と題して公募した作品やバリアフリー上映のほか、映画祭とせんだい・みやぎフィルムコミッションのコラボレーションによって制作された「仙台の新しい記憶をつくろう」の上映およびトークなどをおこないました。

(3) せんだいデザインリーグ 2014 卒業設計日本一決定戦



会期

2014年3月9日 - 3月16日

会場 ギャラリー3300 ギャラリー4200

入場・参加者数

4,697名

入場料等 無料

共催等 共催：仙台建築都市学生会議

ウェブサイト

<http://gakuseikaigi.com>

2003年から続く仙台建築都市学生会議との共催により、全国の建築を学ぶ学生の卒業設計を一堂に集め、日本の第一線で活躍している建築家による公開審査により卒業設計日本一を決める大会。

(4) としょかん・メディアテーク フェスティバル



会期

2014年2月28日-3月2日

会場 オープンスクエアほか

入場・参加者数

4,906名

入場料等 無料

共催等 共催：仙台市民図書館

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/toplus/>

メディアを通じた人・もの・ことのあいだのコミュニケーションをテーマに、メディアテークを拠点とした活動を紹介しました。

(プログラム)

- ・カッパン博士の解剖学講義 vol.2
- ・3.11 震災文庫関連資料展示
- ・バリアフリーサービス紹介展示
- ・レインボーアーカイブ東北 震災体験の手記と選書
- ・おほはしアラウンド
- ・星博士の宇宙を観たか
- ・障がい者グラフィティ「これまでとこれから」
- ・在仙編集者による震災トークライブ
- ・ビブリオバトル—人を通して本を知る、本を通して人を知る—
- ・考えるテーブル てつがくカフェ「震災後、この場所からの〈問い〉—せんだいメディアテーク「考えるテーブル」から考える—
- ・smt グッズ特集
- ・おらと、あんだと、くいもんと
- ・おはなしのへや
- ・smt コレクション特集
- ・星空と路—はじまりのとちゅう—3 がつ11にちをわすれないためにセンター上映室
- ・「民話 声の図書室」記録映像上映
- ・2011.3.11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞き書きした《いっただえ、むかしばなし、はなし》 その2
- ・スタジオ協働プロジェクト紹介展示
- ・おはなしのひろば
- ・ことり TV+仙台工業高校模型部作品上映
- ・定めた点から観て測る

【定禅寺通連携】

(1) とっておきの音楽祭実行委員会との連携



今回で 13 回目を迎える「とっておきの音楽祭」と連携して、オープンスクエアを会場とした催しをおこないました。

(内容)

スペシャルライブ

(2013 年 4 月 28 日 / オープンスクエア / 444 名)

本祭時の共催

(2013 年 6 月 2 日 / オープンスクエア / 926 名)

(2) 仙台・青葉まつり協賛会との連携



今回で 29 回目をむかえる「仙台・青葉まつり」と連携して、オープンスクエアを会場とした催しをおこないました。

(内容)

本祭時の共催

(2013 年 5 月 18 日—19 日 / オープンスクエア / 1,860 名)

(3) 定禅寺ストリートジャズフェスティバル 実行委員会との連携



今回で 23 回目を迎える「定禅寺ストリートジャズフェスティバル in 仙台」と連携して、オープンスクエア等を会場とした催しをおこないました。

(内容)

交流ライブ

(2013 年 7 月 14 日 - 15 日 / オープンスクエア / 1,167 名)

本祭時の共催

(2013 年 9 月 6 日 - 8 日 / オープンスクエア / 7,267 名)

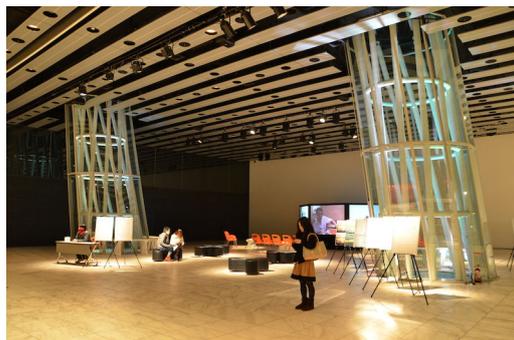
Heart Beat Café

(2013 年 12 月 12 日 / オープンスクエア / 221 名)

写真展

(2013 年 12 月 12 日 / スタジオ a / 195 名)

(4) その他 (光のひろば)



「SENDAI 光のページェント」開催期間中、「光のひろば」と題して、2013 年 12 月 23 日 - 27 日にオープンスクエアにて当館主催事業の記録映像などを上映しました (入場者数 2,601 名)。

2-5. その他事業

指定管理業務に加え、各種機関との共催や、仙台市市民文化事業団の自主財源による事業をおこないました。

(1) 公開対談「知の広場 みんなの家」



会期

2013年5月25日

会場 オープンスクエア

入場・参加者数

250名

入場料等 無料

共催等 主催：知の広場づくり実行委員会 / 共催：せんだいメディアテーク / 後援：イタリア文化会館 社団法人日本図書館協会 株式会社みすず書房

ウェブサイト —

元サン・ジョヴァンニ図書館長のアントネッラ・アンニョリと当館を設計した建築家の伊東豊雄による対談を共催しました。

(2) ルーヴル美術館の、いま



会期

2013年7月22日

会場 オープンスクエア

入場・参加者数

338名

入場料等 無料

共催等 主催：ルーヴル美術館 宮城県美術館 せんだいメディアテーク / 協力：SMMA 仙台・宮城ミュージアムアライアンス

ウェブサイト

ルーヴル美術館館長のジャン＝リュック・マルティネスによる講演を共催しました。

(3) 考えるテーブル×アートミュージアムラボ「みたいものとみたくないもの」

会期

2013年12月5日

会場 ギャラリー4200

入場・参加者数

47名

入場料等 無料

共催等 主催：財団法人地域創造 宮城県美術館 せんだいメディアテーク / 協力：SMMA 仙台・宮城ミュージアムアライアンス

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/thinkingtable2012/?p=4874>

さまざまなミュージアムのスタッフが集い、参加者とともに「みたいものとみたくないもの」をテーマに話し合う事業を共催しました。

(4) 東北記録映画三部作「なみのおと」「なみのこえ」「うたうひと」上映会

会期

2013年6月23日

会場 スタジオシアター

入場・参加者数

148名

入場料等 無料

共催等 共催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム / 協力：silent voice 東京藝術大学大学院映像研究科

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/activity/longe/201305/>

3がつ11にちをわすれないためにセンターで活動する映画作家、酒井耕・濱口竜介と、スタジオで活動していた「みやぎ民話の会」との出会いによりつくられた映画を上映しました。

(5) シネバトル



会期

2013年

9月10日 10月19日

2014年

1月24日

(全3回)

会場 映像音響ライブラリー スタジオb

入場・参加者数

のべ202名

入場料等 無料

共催等 ー

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/cinebattle/>

鷲田館長がファシリテーターを務め、登壇者それぞれが紹介した好きな映画から、参加者の投票により一番見たい映画を選びました。

(6) 活版印刷ワークショップ

会期 通年

会場 地下1階準備室

入場・参加者数

6名

入場料等 無料

共催等 共催：活版印刷研究会

ウェブサイト ー

活版印刷研究会が中心となり、地下1階準備室にある印刷機を使ってその技術について学びました。

(7) カッパンリトルミュージアム vol.2

会期

2013年11月4日 - 2014年2月23日

会場 南ラウンジ

入場・参加者数 ー

入場料等 無料

共催等 ー

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/kappanlm/>

活版印刷機の展示および印刷方法に関する映像解説を展示しました。

(8) カッパン博士の解剖学講座 vol.2

会期

2013年3月1日 - 2014年3月2日

会場 地下1階準備室

入場・参加者数

のべ57名

入場料等 無料

共催等 ー

ウェブサイト

<http://www.smt.jp/projects/2013/04/kappan.html>

日本のタイポグラフィーの第一人者・小泉均を講師に、活版印刷の道具のメンテナンスを体験する講座をおこないました。

3. 受託事業

仙台市より受託した緊急雇用創出事業。

(1) 3 が つ 11 にちをわすれないためにセンター（震災復興アーカイブ事業）



ウェブサイト

<http://recorder311.smt.jp>

2011 年度から継続して、市民、専門家らとの協働により、東日本大震災に関する映像、写真、音声を記録・発信しました。

(他、イベント等)

- ・障がい者グラフィティ (vol.20-28)
- ・定点観測サロン「みつづける、あの日からの風景」(第7回-13回)
- ・リアルふっこうボイス (第23回-28回)
- ・サロン・ド・わすれンヌ「こえシネマ」
—映像で話す場所— (第5回、および第7回-9回)
- ・わすれン！上映室『星空と路——はじまりのとちゅう』(「としよかん・メディアテーク フェスティバル」にて)
- ・サロン・ド・わすれンヌ (2014年3月11日/オープンスクエア/1,580名)
- ・わすれん！DVDの制作・貸出 (15タイトル)

(2) SMMA 仙台・宮城ミュージアムアライアンス (ミュージアム活性化事業)



ウェブサイト

<http://www.smma.jp/>

2010 年度より継続している仙台を中心とした博物館施設 (現在 12 施設) の共同事業体の事務局を担いました。

(他、イベント等)

- ・見験楽学スタンプピクニック 2013
(2013 年 4 月 1 日-6 月 30 日 / 14 館参加)
- ・ミュージアムユニバース —すてき・ふしぎ・おもしろい— (2013 年 12 月 20-21 日 / オープンスクエア / 1,375 名)

4. 情報サービス事業

各種ライブラリーでの資料提供や情報メディア活用の支援。

4-1. 映像音響ライブラリー

資料点数	11,531 点
貸出点数	77,310 点
新規登録者数	583 名

4-2. 教材ライブラリー

資料点数	4,378 点
資料貸出点数	221 点
機材貸出点数	320 点

4-3. 視聴覚障害者情報ライブラリー (バリアフリー・ライブラリー)

資料点数	5,649 点
貸出件数	2,531 点
対面朗読件数	315 件
音訳・点訳件数	60 点
音声読み上げパソコン利用件数	37 件
音訳所蔵資料制作件数	5 件
点訳所蔵資料制作件数	71 件

(利用者依頼：31 件、視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」登録：40 件)

4-4. 地域映像ライブラリー

資料点数	16 点
------	------

4-5. デジタルアーカイブ事業

(1) アーカイブ作成活動事業 (smt コレクション)



主催事業の記録映像資料（2000 年度－2002 年度）、スタジオを拠点とした市民グループ等との協働による映像資料、3 がつ 11 にちをわすれないためにセンターの活動を通じてつくられた震災記録映像資料を DVD 化し、映像音響ライブラリーおよび教材ライブラリーで公開しました。

(内訳)

せんだいメディアテーク事業記録 57 点
協働による制作物 4 点
3 がつ 11 にちをわすれないために
センター資料 15 点

(2) 3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター (再掲)

(3) そのほかアーカイブ事業 (ウェブサイトの継続運用)

まちかどタイムトラベル

<http://www.smt.jp/machikado/>

せんだい時遊マップ

<http://map.smt.jp>

4-6. メディア活用推進事業（活動支援事業）

(1) 学校連携

コマ撮りアニメーション授業の普及(12校、参加児童 1071名。機材セット貸出し、図工部会研修会への講師派遣)、震災映像アーカイブの学校活用化検討(教材パッケージ制作)、木町通小学校との連携(映像制作授業の実施、機材貸出、震災体験の取材記録活動「木町の3.11」での機材貸出、研修への講師派遣)をおこないました。

(2) 音声パソコン入門講座（目の不自由な対象）



会期

2013年
11月16日 11月17日 11月23日
11月24日
(全4回)

会場 7階会議室 b

入場・参加者数
のべ16名

入場料等 無料

共催等 共催: 仙台市視覚障害者福祉協会

ウェブサイト —

目の不自由な対象に、音声パソコンの基本操作、文字入力の方法、ホームページ

の閲覧、電子メールの送受信などについて講習しました。

(3) 音声パソコンステップアップ講座（目の不自由な対象）

会期

2013年
7月27日 7月28日
(全2回)
2014年
2月1日 2月2日
(全2回)

会場 2階会議室

入場・参加者数
のべ17名

入場料等 無料

共催等 共催: 仙台市視覚障害者福祉協会

ウェブサイト —

目の不自由な対象に、2回の講座をおこないました。7月は、音楽を聴くことや好みの曲を保存することなどについて、2月は、ファイル管理の基礎、エクスプローラーの使いかた、パソコンのメンテナンス、メニュー操作の応用などについて講習しました。

(4) バリアフリーボランティア活動

専門的な技術を持った方や、各種講座を受講した方たちが、目や耳の不自由な方への情報提供に関わる活動をおこないました。

活動件数 合計 1,415 件

(内訳)

音訳	567 件
点訳	100 件
音声パソコン操作補助	28 件
音声解説制作	369 件
日本語字幕制作	351 件

*活動件数は、ミーティング参加等もふくむ。

(5) スタジオを拠点とするプロジェクト



スタジオを拠点として、「表現・発信を通じて地域の文化を蓄積すること」「さまざまな人が表現や発信にふれられるようにすること」「新しい表現や交流を生みだすこと」を目的とし、メディアテークと協働でさまざまなプロジェクトに取り組みました。さらに、公募によりプロジェクトとそのパートナー（協働者）を募りました（今年度実施プロジェクトは4月1日 - 5月10日に募集し、応募10件、採択3件。次年度実施予定プロジェクトは、2014年2月1日 - 28日に募集し、応募7件、採択2件）。また、これらスタジオでのプロジェクトを紹介するフリーペーパーを発行しました。

(実施したプロジェクトと協働者)

- ・ヤングファーマー農宴 —おらとあんだとくいもんと— 宮城県 4H クラブ
- ・くろい音楽室 みやぎアナログ文化協会
- ・いま、貞山運河を考える いま、貞山運河を考える会
- ・どこコレ? —おしえてください昭和のセンドアイ— NPO 法人 20 世紀アーカイブ 仙台
- ・「民話 声の図書室」プロジェクト みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム
- ・てつがくカフェ てつがくカフェ@せんだい
- ・こけし、かだる? こけしぼっこ
- ・バリアフリー上映 日本語字幕制作ボランティア、音声解説制作ボランティア
- ・手ではなすおはなしの会 まほうの手
- ・こえシネマ 映像サーベイヤーズ
- ・録音図書制作 グループひかり、仙台朗読奉仕の会、デイジーけやき
- ・点訳データ制作 点訳ボランティア
- ・3.11 定点観測写真 アーカイブ・プロジェクト NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台
- ・おほはしアラウンド 地域探検隊-TTT-
- ・ことり TV ことり TV 市民ディレクター、仙台 CATV
- ・音声パソコンサポート 音声パソコン操作補助ボランティア
- ・障がい者グラフィティ NPO 法人ゆにふりみやぎ、CIL たすけっと、被災障がい者センターみやぎ
- ・支援のかたち 仙台市市民活動サポートセンター
- ・リアルふっこうボイス まちづくり部

5. 広報物

5-1. 配布・配信

館内の催し

毎月発行 2500-3000 部

けやき通り通信

隔月発行 350 部

教材ライブラリーだより

隔月発行 350 部

メールニュース

毎月配信 登録 2,215 件

ウェブサイト

随時更新 アクセス総数
580,105 件

5-2. 常備広報物

総合案内（日本語版 英語版 フランス語
版 中国語版 韓国語版）

総合案内（目や耳の不自由なかたへ）

総合案内（車椅子アクセス）

貸出施設利用案内

